

# ユースがゆら版

## 「祇園祭ごみゼロ大作戦に参加しました！」



今年も京都市ユースサービス協会は“ごみゼロ大作戦”に協力しました。“ごみゼロ大作戦”とは、繰り返し何度も洗って使用できるリユース食器を露店へ導入し、ごみの減量と散乱ごみの防止を実施する日本最大級の取り組みです。

宵々山、宵山の2日間、リユース食器の回収やごみの分別などを行いました。当日はかなり蒸し暑い天気でしたが、大きな問題もなく、楽しく参加することができました。

来年もぜひ協力を続けていきたいです。

写真提供：  
祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会

## 「ひきこもり経験者の話を聞く会」

伏見青少年活動センターでは、9月～12月の間にNPO法人 京都 ARU と協働し、「生きづらさ」をテーマにしたロビープログラムを実施します。一番の目玉は10月16日(日)14時～16時に開催する、ひきこもり経験者の話を聞く会。23歳のときにアスペルガー症候群と診断を受けるも、さまざまな社会資源やネットワーク、知識を得て「生きづらさ」を乗り越えている当事者をゲストに迎えてお話をうかがいます。その他にも月1回、ゲストを囲んだおしゃべり会を実施。詳しくはホームページをご覧ください。

## 「中高生のためのプログラムを拡充！」

東山青少年活動センターでは、新たに中高生を対象とした2つのロビープログラムがスタート！

「放課後プロジェクト」(毎週火曜日・木曜日16時～18時)では、地元中学生を対象に放課後が楽しくなるような企画や、みんなの「こんなことやってみよう」という案と一緒に考え実現していきます。

「土曜ふらっと」(第1・3土曜日14時～18時)では、中高生を対象におススメの本を紹介したり、お茶会をしたり、一人でも安心して参加できるようなプログラムを実施していきます。



## 「京都の魅力 高校生が動画で発信！」

中京青少年活動センターで、現在「京都の魅力を動画で発信する」をコンセプトに活動を開始した高校生K。第1作となる動画を先日、撮影してきました。

京都のまちが一番にぎわう夏のお祭り、祇園祭に潜入。ビデオカメラ片手に宵山の夜を歩いた映像は、臨場感たっぷりのものになっています。ただいま鋭意編集中。

京都に住む高校生の彼が伝える京都の魅力、これからどんな風に展開していくのか楽しみです。

また、Kと一緒に活動してくれる中高生の仲間を募集しています。活動は週に1回程度、撮影内容のミーティングや撮影、編集をグループで行います。

京都が好き！ 動画撮影やってみよう！ レポーターとして出演してみよう！ など、興味のある方は中京青少年活動センターまで。



## 「おしまなかまと みつけろ！さまぁ～！」

利用登録グループ『特定非営利活動法人冒険キャンプ実行委員会』は、この夏、愛媛県今治市『風の顔らんど・小島』にて8月11日～17日の1週間キャンプに挑戦しました。32回目を迎えたキャンプで、小学1年生から中学3年生まで公募が集まった子どもが60人、スタッフ40人、総勢100名の一大キャンプです。水道も電気もない土地で、ご飯を作ったり、手作りの水道で洗濯をしたり「生活」を一緒に作ります。決まったプログラムはなく、宝探しや流しそうめん、海遊びなど、子どもたちと決めながら過ごしました。小島だからできること、この仲間だからできること、この夏のとっておきが見つかりました。



## ご寄付いただきました

2016年8月21日 LIVE KIDS 25回記念大会がロームシアター京都で開催され、ダンスやミュージック、パフォーマンスなど31組の発表と、延べ1,500人の来場者がありました。

当日、来場者の皆さまから「若者の文化発信事業」に対して97,653円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。

なお、京都市ユースサービス協会では、このように「事業指定寄付」を受け付けています。詳しくはホームページをご覧ください。

その他8月末時点で、協会運営全体への寄付を含めて、401,970円のご寄付をいただいています。

(個人からいただきました寄付については、年度末にご報告させていただきます)



発行 公益財団法人 京都市ユースサービス協会

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262 京都市中京青少年活動センター内

tel: 075-213-3681 fax: 075-231-1231 E-mail: office@ys-kyoto.org

HP: <http://www.ys-kyoto.org>

印刷: 株式会社谷印刷所 デザイン: 自然堂株式会社

